

【安心・安全な社会】強靱な社会の基盤となる 平和構築と公正なガバナンス強化： 平和と安定、安全の確保（Peace）

現状と課題

- 2010年以降、紛争件数は増加し、長期化、国際化の傾向がある。背景として、暴力的過激主義の蔓延、国境管理の課題等があり、人道と開発の連携や広域協力が求められる。
- 新型コロナウイルスは、公衆衛生と経済を始め、雇用、教育や社会保障等の社会・経済全体に深刻な影響を及ぼし、新たな不安定要因を作り出している。

今後の取り組み方針

- アフリカ自身による地域安定化の取組を、国際社会と共に日本も後押しする姿勢を示す。
- アフリカの脆弱性・紛争・暴力(FCV)のホットスポットである「**アフリカの角**」及び「**サヘル**」の平和と安定に取り組む。ガバナンス強化に加え、教育・保健等を含むマルチセクターで政府の能力強化と住民のエンパワメントを組み合わせ、人々の尊厳と安全が守られる強靱な国・社会を作り、人間の安全保障の実現を目指す。
- 両地域の安定に向けたJICAアプローチと具体的貢献をアフリカ諸国および他開発パートナー、地域連携枠組みと調和化し、各機関との協調・連携によりJICA協力のアセットを活用しつつ開発効果の増大を図る。

【アフリカの角】

1. 地域の平和と安定(AU/IGADと連携し平和と安定のモメンタム向上に寄与)

- 地域の脆弱性への対応: JICAチェア(日本の国家建設経験共有)、海上保安、難民対応等
- 連結性強化: 回廊開発(Horn of Africaイニシアティブとの連携)、CARD, SHEP, KAIZEN等地域イニシアティブ、災害/気候変動対策、感染症等国を跨ぐ課題の域内共有

2. 域内各国の平和と安定(人道・開発・平和の連携に留意し各国協力を推進)

- 強靱な国・社会の確立: 政府の統治能力向上(地方行政、選挙、法整備支援等)、民主化の定着・促進(メディア、警察)、若年層、女性、難民・国内避難民、帰還民等の社会開発、信頼される社会サービス(保健、地方行政他)
- 国内の格差是正に資する経済開発: 農業生産向上、雇用創出、インフラ整備

【サヘル】

1. ガバナンス・安全

- 行政能力強化: 住民から信頼される地方行政(DX活用含む)、行政官育成(留学含む)
- 国境管理、刑事司法・司法アクセス等法の支配確立への支援、警察の能力強化支援

2. レジリエンス・人間開発

- 地域社会のレジリエンス強化: 基礎教育「みんなの学校」、農業・生計向上(CARD, SHEP, IFNA)、気候変動対策/自然環境保全等の展開、避難民支援
- 経済格差是正: KAIZEN、産業人材育成による若者の雇用促進

3. 経済・社会インフラ整備

- G5サヘル間及びそれ以外地域の連結性強化・インフラ整備(道路・港湾・電力等)



貢献する SDGs



平和

【安心・安全な社会】強靱な社会の基盤となる 平和構築と公正なガバナンス強化： 平和と安定、安全の確保

これまでのJICAの取り組み



ウガンダ：難民を含めた統合開発計画が策定される地域で、ホストコミュニティの住民と共に稲作技術を学ぶ難民(写真：久野武志)



コートジボワール：コミュニティ道路の整備を通じて、住民と行政が協働し、信頼を醸成することが、社会的統合促進の大きな一歩となる



ザンビア：SHEP(市場志向型農業振興)研修にて、季節に適した作物栽培のカレンダー作成を行う、元難民とホストコミュニティ住民。



マリ：小学校の算数学習改善に向け、学校運営委員会の代表者等が活動計画を話し合う地域教育フォーラム



ナイジェリア：UNDPと合同での地方行政ワークショップの修了式。住民と行政の信頼醸成の重要性を学び、平和が定着し安全なまちづくりが進むことを目指す。



南スーダン：スポーツを通じた平和促進を目指し、開催されている国民結束の日(NUD)全国スポーツ大会表彰式の一部。